

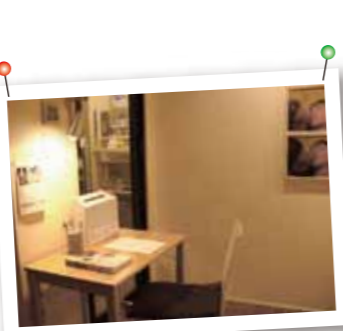
コミュニティセンターに行ってみよう!



暖かくなってきましたねー!
春は出会いの季節です。
ゲイタウンにも人がいっぱい!
堂山に来たときは
"dista(ディスタ)"ものぞいてみてね。

dista(ディスタ)ってどんなところ?

distaはゲイタウン堂山の入り口にある、誰でも気軽に立ち寄れるオープンスペース。街の中の「公民館」のような場所です。年齢や性別に関係なく「待ち合わせ」や「暇つぶし」「友達がほしい」などなどいろいろな目的で利用できます。もちろんゲイも、そうでない人も誰でもOK。



distaにはHIV/エイズなど、セックスで感染する病気の情報がたくさん用意されています。

また、HIV陽性者とその身近な人たちの手記や、性感染症の予防・検査・治療に関する最新の情報をいつでも知る事ができます。



他に、ゲイ雑誌やセクシュアリティ関連の書籍、PCなどが用意されています。ゲイバーやハッテン場、クラブイベントの情報も置いています。わからない事があれば、コンシェルジュに声をかけください。コンシェルジュは、distaを利用する時、お手伝いをしてくれるボランティアスタッフです。



オープンスペースは、いろんな人が関わったり、すれ違ったり、話しかけたりしながら人と交流できるのも特徴です。初めて話しかけて、仲良くなって、ご飯や飲みへ行く。そんな光景もよく見られます。



日によってワークショップ教室や語学教室、カフェイベントなどを行っています。イベント中もオープンスペースとして自由に入出りできるので、自分にあったイベントを探すのも面白いですよ。

distaはHIV/エイズの情報を地域の皆さんに伝えるために、国の支援によってMASH大阪が運営するスペースです。運営の大部分はボランティアによって担われています。distaを手伝って頂けるボランティアはいつでも募集中です!!興味のある方は下記までお問い合わせください。



オープン時間:月曜日～日曜日17:00～23:00(火曜定休)
住所:北区堂山町17-5 翼ビル4F
tel/fax:06-6361-9300 E-mail:office@mash-osaka.com
HP: http://www.dista.be/

>>>TEACH



気になるけど、誰に聞いたらいいのかわからない、知りたいけど、どうやって調べたらいいのかわからない。そんなみんなの疑問に、経験豊富な兄貴(時にはアネキ)が答えるコーナー。

10代～20代応援サークルSTEPに参加してみよう!!

この春関西に来たばかりで、まずは知り合いを作りたい!新しい出会いが欲しい! 友達が欲しい! そんな10代20代のゲイバイセクシュアル男性を応援しているサークルSTEP(ステップ)で、お手伝いしているMASAくんにお話を聞きました。

STEPってどんな感じ?

就職で大阪に来て、まだ右も左もわからなかった頃、ネットで花見の事を知って参加しました。そこから少しずつバーやクラブにも行くようになって、友達も出来て行ったんです。今年から新しく大阪に来られる方も沢山いると思うので、いろいろな事を知るきっかけの一つとして、お花見に参加してもらえたら良いな一っと思ってます!

次の企画は何ですか?

今回は、4月7日(日)にお花見をやります! やっぱお花見って、日本人の大切な部分っていうか(笑)人と仲良くなりやすいイベントじゃないかなって思います。僕も初めて自分以外のゲイに会って楽しかった。思った最初のきっかけは、お花見に参加してからでした。毎年50人以上、多い時は100人を越えるお花見だったので、見た目も圧巻(?)ですよ!

お花見STEP詳細	
■日時:4月7日(日) 13時～16時(予定)	■場所:桜ノ宮公園周辺
■人数:80人まで	■参加費無料
※みんなで食べれる食べ物をご持参ください。	
■参加受付:3月31日(日)まで	■参加希望の方に、詳細メールをお送り致します。
○早く定員に達した場合、受付期間に問わず早く締切場合があります。	
参加申し込み・質問	
メールアドレス:stepstep_go@yahoo.co.jp宛にメールを送ってください。そのさい件名に「お花見参加希望」と記入し、本文に①名前(ハンドルネームや仮名も可) ②年齢を記載してメールをお送りください! 二日以内に折り返しご連絡いたします。	



>>>HUMAN

今月の「顔」

vol.70 大和田 怜(リョウ)

毎月表紙を華やかに飾ってくれるカバボーイくんの人間像をちょっとだけお見せするコーナー

Q.休みの日はなにをしていますか?
A.一人でいる事が多いです。ジムに行ったりヒトカラしたり。カフェに行ったりのんびりしたり日記を書いたりします。あと、チューバを吹いています。

Q.自分だけの目録ってなにかありますか?
A.「大和田ノート」っていう、日常のいろいろな記録を残すノートをつけています。21歳くらいのときに始めて、今38代目です。大和田ノートとは別に7年前から日記も付けています。自分が生活していて、振り返ったときに何か残る物を作りたいなって思っていて、なんやかんやで続いています。

Q.何してる時が楽しい?
A.基本的に何をしていても楽しい。大変な時は大変だけど、基本的に楽しむようにしています!

Q.セックスは?
A.タチリバ。受けも好きだけどタチリバ。

Q.セックスのどんなところが好き?
A.単純に触れ合ってるのも気持ちいいんですけど、お互いの事をもう一歩わかり合える



身長:161cm
体重:64kg
年齢:24才
星座:射手座
血液型:O型

>>>GOURMET

マリキータ・オニツカ 夜のグルメ世界紀行

♪好きなんだけど(西郷輝彦風、超セクシィ!!)…めったに食べない料理ってあるよね。アタクシの場合その筆頭がインド料理。あと、フレンチもそう。共通点は何かしら、って考えた結果、いささかへヴィなところかしらってことに。で、インド料理のお店なんですけれど、灯台下暗し、あら、こんな近くにこんなヌ・テ・キなインド料理のお店があったのね、と思わせてくれる一軒をご紹介しますワ。しばらく前のこと、7～8人でガッツリ喰おうってことで、巨大なナンを頭に思い浮かべながら神山町交差点近くの階段をトコトコ降りてみると、アラまあ意外に広い店内。申し分ない接待。サラダ、サモサ、カレーそして文字通り巨大なナン…注文自体は何の変哲もないものだったんですけど、どれも熟練のプロのお味で、とーっても使い勝手の良いお店ってことが判明いたしました。肝心のカレー、とてもマイルドでへヴィなとこまるでナン。それでいて奥深いお味。その日以来、♪好きなんだけど…は返して、♪生きる限りは、どこまでも…(城卓矢風、超イケメン!!!、youtubeにてご覧遊ばせ)



>>>LIFE



- My Friend is POSITIVE -

HIV感染がわかったとき、まず何を思った? どんな風に感染を受け入れた? HIV陽性とわかった後だって人生は続いていく。なら少しでもポジティブに!!ってことで、「HIVの友人がいる人」にぶっちゃけ色々聞いてみました!

HIV陽性と分かってから困ったことはなんですか。

通りの旅人 (30代)

感染したとき、最初に心配したのは「いつから投薬するか」と「いつまで発病するか」ということだ。今はもう服薬して、CD4は順調に上がっている。けど、やっぱり日和見感染症に怖がっている。今、困っていることは薬の副作用だ。薬を飲む前に、今飲んでる薬も、担当のコーディネーターナースと相談して決めている。「人によっては、薬の副作用がそれぞれ違うって」と言われた。なので、薬を飲んで何の副作用もないというのを期待していた。残念だけど、副作用は思っていたより結構強く現

た。最初の一ヶ月は、飲んでから、めまいや顔が真っ赤になったり、放心状態になったり、時々金縛りのような状態になる事がある。今はそれほど強い副作用は出ないけど、多少の副作用はあるから、薬を飲んだ時はできる限りにさっさと寝るようにしている。後は病院に通うことだ。三ヶ月に一回の通院は、たまに不便だと思いが幸いに前の仕事はシフト制で、休みが平日でも構わないし、早く仕事が終わってからも病院に行けたので気楽だった。こうすると、たまに病院に行くことは伝えなくてもいいし、たまにだけど、なぜ病院に行くの? って聞いてくる人

そういう時は、「定期的な健康のための検査」とか、「最近ちょっと胃腸の調子が悪そう」とか、「〇〇の予防注射」とか、嘘をついている。つま、完全に嘘ってわけじゃないけど(笑)色々困っていることはあるけど、これからの道を歩いてくしかない。



>>>TOPIC

知っとこ! Sexual Health Information

「中高年世代に向けた新しいコミュニティペーパーが発行!」

昨年の11月、大阪地域在住の中高年MSM(ゲイ・バイセクシュアル男性)に向けてエイズ予防・性的健康の増進を呼びかけるためのコミュニティペーパー<南界堂通信>(季刊)が発行されました。「中高年世代のライフプランを考える新聞」と題された創刊号は:

- ・頼りになる街のお医者さん
- ・熟年世代の出張診察室
- ・謎解きマップ～新世界編
- ・江戸の男色紀行
- ・老後の来ないゲイはない!
- ・入江敦彦の倫敦通信

など、多彩な内容の記事が並んでいて、<SaL+>とは随分違った内容となっています。<SaL+>と違う点は内容に止まりません。実は<南界堂通信>は当分の間、大阪市・大阪府の予算で発行されます。いずれも個別施策層向けエイズ対策の一環として予算が執行されています。このことは、

地域MSMの性的健康を増進するためのメディアが、行政の予算によって開発された

ことを意味しており、時代の変化を感じさせます。<SaL+>の創刊時(2002年)、その予算を大阪市や大阪府が負担するなんてことは夢のまた夢でしたから。

「SaL+」は、MASH大阪が定期的に発行するコミュニティペーパーです。SEX and LIFEの頭文字を取って、それに少し付け加えて「+」健康なセックスライフに役に立つ情報や、街の情報を発信していただければと思っています。お店やショップで見かけたら、ぜひ手に取って下さいね!!

MASH大阪・dista2月の募金集計=Y1.768 ※募金内訳(敬称略):dista寄付金箱:Y1.768
いただいた募金はdista運営およびMASH大阪の活動資金として、大切に使用させていただきます。

編集後記

何が悔しいって、大阪で開催されたフィギュアスケート四大陸選手権に行けなかったことほど悔しい思いをしたのは久しぶりでした。ダイスケ君とユズルちゃんの一騎打ちはみごとに肩透かしを喰らったけれど、マオの復活、16歳/ハン・ヤンの驚愕トリプルアクセル、メリチャリの<ノートルダム・ド・パリ>、それに大阪の観客の熱狂ぶり。ニコ動で我慢、我慢の日々…

少しずつ暖かくなってきて、花見の季節がもう目の前です。今年も、恒例のお花見step(10代～20代までのゲイ・バイセクシュアル男性限定)をやりませう! 毎年60～80人ほどの参加がありますので、初心者さんもベテランさんもうぞお気軽に! 詳細やお問い合わせは、distaのホームページやお問い合わせフォームからどうぞ!

ご意見・ご要望・ご叱咤などがありましたら、FAXまたはEメールにてMASH大阪事務局(〒)までお寄せください。

MASH OSAKA
〒530-0027 大阪市北区堂山町17-5 翼ビル4階
TEL/FAX) 06-6361-9300
office@mash-osaka.com
平成24年度厚生労働省委託事業 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業